

発行にあたって

本集および既刊の第五集、本年度刊行予定の第八集は、国立公文書館に所蔵されている文部省公文書（昭和四十七年度移管分）のうちから本学関係の諸資料を調査・収集し、編集した資料集であります。

第二分冊にあたる本集には、一九三五（昭和十）年から一九四三（昭和十八）年の八年間にわたって本学が文部省に提出した諸申請と、その認可をめぐる公文書十七点を収録いたしました。この時期は、社会全般に国家的統制が強化されて、戦時体制が確立していく時期にあたり、いくつかの学則改正や報国隊組織編成表提出に関する申請からは、教練・修身を必須科目に加えて軍事教練を強化し、報国隊・奉公団の結成を進めた本学の姿が浮かびあがります。また、目次には第五集収録史料と第八集収録予定史料もあわせて掲載してありますので、翻刻史料の全体像についてはそちらを御覧ください。

これらの公文書は、火災などの理由で学内史料があまり残らなかった本学にとっては、ほとんど唯一の基礎的史料であり、第一集・第二集で翻刻した東京都公文書館所蔵の公文書とともに、大学の制度的側面を研究するための前提となるものであります。第五集・本集以降、順次刊行される国立公文書館所蔵の諸史料により、これまで曖昧であった本学の軌跡もかなり明確になるものと確信しております。

貴重な史料の閲覧・収集と刊行をお許しくださった国立公文書館に、深甚なる敬意と謝意を表すものであります。

一九九〇年十二月

専門委員会主査

服部 昌太郎